

令和 6 年度「中学生オンライン交流会」報告書

1 目的

青梅市の将来を担うこどもたちが、それぞれのテーマについて他校との意見交換・交流を通じて、市政運営に対し、興味・関心をもってもらうとともに、こどもたちの声を市政運営に反映させることを目的として開催する。

2 日時

令和 6 年 1 2 月 2 3 日（月）
午後 3 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分まで

3 会場

各学校間と市役所で実施（オンライン開催）

4 参加生徒

中学校 1 0 校 4 5 名

5 実施概要

(1) 当日スケジュール

1 5 : 3 0	開会	2 分
1 5 : 3 2	説明・注意事項	3 分
1 5 : 3 5	グループごと意見交換	4 0 分
1 6 : 1 5	発表（各グループ 2 分以内）	1 0 分
1 6 : 2 5	市長・教育長講評	5 分
1 6 : 3 0	閉会	2 分

(2) 当日の役割分担

全体司会…第二中学校
開会挨拶…霞台中学校
閉会挨拶…新町中学校
グループリーダー・発表…「7 テーマ」の網掛けの学校

6 オンライン交流会で話し合う内容

- (1) 「7 テーマ」のグループごとに、各校 2 名ずつに分かれる。
- (2) 事前に各校で話し合ってきたワークシートをもとに意見交換を行う。
- (3) グループで話し合ったことを 2 分間で発表する。

7 テーマ

テーマ	中学校	
「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」	グループ A	第一中、第二中、霞台中
	グループ B	第三中、第七中、吹上中、新町中
	グループ C	西中、第六中、泉中
「青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには」	グループ D	西中、霞台中、吹上中
	グループ E	第一中、第三中、泉中
	グループ F	第二中、第六中、第七中、新町中

8 発表内容

(1) 「みんなが通いやすい、より良い学校にするために」

ア グループ A

主に「いじめやいじりがない学校」、「礼儀や敬語に気を遣える学校」という2つの意見が出ました。1つ目の「いじめやいじりがない学校」に関しては、自分自信の行動や言動に関するアンケート、また、カウンセリングを活発に行うという意見が出ました。また、「礼儀・敬語に気を遣える学校」に関しては、部活動などで親しみを持つためにためタメ^{くち}口で話すことを推奨している部活もあります。ですが、時と場合によって敬語やタメ^{くち}口を使い分けることが大切だと考えました。また、合唱祭や体育祭など全校交流の活動の場もあると思います。そこで今まで関わったことのない先輩たちや先生と関わることによって、礼儀や敬語に気を遣えることができるのではないかと考えました。

イ グループ B

楽しめる行事があり、一人ひとりが活躍できるような学校

にし、いじめのない学校にするという意見が出ました。理由としては、楽しい行事があることで他学年との交流が増え、個性を生かすことができるからです。このような学校になるためにイベントをつくるとよいという意見が出ました。例としては交流給食や3年生を送る会などでクイズ大会を開くとよいという意見が出ました。また、いじめをなくすために講演会を開くという意見も出ました。

ウ グループC

2つの意見が出て、最初に、いじめのない・省かれない・安心した学校づくりというのが意見として出ました。そのためには全校レクなどの全校で交流できる場面、場所をつくって、生徒会が中心となって進めていくような取組をするという意見と、L G B T Qの方をお招きして安心して自分に自信を持てるような機会をつくることのできる講演会を実施して、こちらも生徒会が中心となって、講演会の運営を行うというのが出ました。

2つ目の意見としては、学習に集中できる環境をつくるというので、学校の現状としては、スペースが余っている学校もあったのですが、人数が多すぎてスペースが全然ないという学校があったので、スペースを確保するために一クラス当たりの人数を減らすことを市に行ってほしいと思います。「スタディサプリ」や「K a h o o t !」などのネットを使った学習（※インターネットを活用した学習アプリ・コンテンツのこと）を市全体の学校に取り入れてほしいと思っています。

(2) 「青梅市の豊かな自然や緑を未来につなぐためには」

ア グループD

吹上中学校からは、自然や緑の役割として、地球温暖化の防止や生物の住处、ふれあいの場だと考えました。自分たちができることとしてポイ捨てをしないと考え、自然環境を活用した若い観光客向けのイベントを市にお願いしたいです、

西中学校からは、自然や緑の役割として、森が、土砂災害防止や魚が暮らせる環境、こどもの遊べる場になっていると

いう意見が出ました。他校にお願いしたいこととして、自然を守るボランティアを他校でも取り入れてほしいという意見が出ました。

霞台中学校からは、自然や緑の役割として、地球温暖化の防止や、緑は目に優しくリラックス効果があるという意見が出ました。他校にお願いしたいこととして、自然と触れ合う活動をしてほしいとのことでした。

イ グループE

自然や緑の役割や機能を未来につなぐために自分たちにできることとしては、ボランティア活動を行う、例えば植樹活動や川の清掃、ごみ拾いなどで、そのほかの意見については、生徒会を中心にリサイクルに関する講座を開くなどが挙がりました。市にお願いしたいこととしては、地球温暖化抑制のポスターやポイ捨てされたゴミを撮った写真を学校や市内に掲示するという意見が出ました。

ウ グループF

まずはじめに、私たちのまわりには人工林、天然林をはじめ、川、動物、よくみる街路樹などが身近な自然だと考えました。これらの自然、緑には、環境的な役割、大気の浄化や光合成による環境保全があったり、精神的な役割としてはリラックス効果や自然体験による良い刺激を受けるなどがあると考えます。ほかにも乾燥資源になるというのもありました。この役割を未来につなぐため、必要以上の森林伐採やポイ捨てをしないという環境を守る活動、林業に興味を持ってもらう活動、例えばボランティアやSNSでの林業についての発信、林業体験などがあるのではないかと考えました。市内の大人、市内だけではなくほかの地域に青梅の林業に興味を持ってもらう活動を市に提案します。ほかにも青梅産の木材をつかってもらうためにアスレチックや青梅の特産品をつくるなどの意見も出ました。外国の木材は安く日本の木材の需要が少なくなっている中で、青梅の木材、林業に興味を持ってもらうことで、青梅の注目度が高まり森の循環もできるので

はないでしょうか。私たちができることから大きなことまで、今なにが必要なのかについて考え行動したいと思いました。

そして、議題とは関係ないのですが、オンライン交流会を対面でやりたいなという考えも出ました。対面で話し合いをしたほうが、意見も更に深まり、新しい発想も出るのではないかと考えました。どうかご検討お願いします。

9 学校アンケート

(1) アンケート回収状況

全体	34名
生徒	23名
教職員	11名

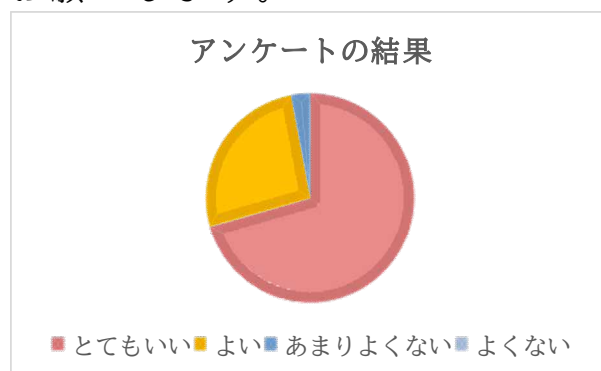
(2) 「令和6年度 中学生オンライン交流会」の取組はいかがでしたか。

とてもいい	24名
いい	9名
あまりよくない	1名
よくない	0名

(3) その理由を教えてください。

ア 生徒

- ・ 私達の学校だけでなく、他の学校での問題点など意見交流を通し様々な視点から議題について考えられたため。
- ・ 各学校の課題と、これからどのように活動して行けばいいのかを理解するよい機会になったと思いました。この、オンライン交流会で得た意見を取り入れ、今後活かしていきたいと思いました。
- ・ 私達が思いつかないような意見がたくさん出たから。私達の学校では、あいさつプラス一言運動を学期に一回行っていますが、他の学校では一ヶ月に一回行っておりそのような意見は学校に取り入れていきたいと考えています。
- ・ 他の学校の取組についてよくしれたから。またやりたい。
- ・ 学校での課題について議会で相談をした際、いろんな学校さんから意見をもらうことができて良かったです。今後の



生徒会活動の糧にしていきたいと思います。

- ・どの学校もそれぞれしっかりと考えられていて、賛成だったり、この意見はどうのこうのとお互いに意見を深められ、まさに交流会ができたと思いました。

イ 教職員

- ・他校生徒と交流することができ、刺激を受けた様子でした。ありがとうございました。
- ・司会担当の生徒などへの事前説明が十分に行えており、生徒が自信をもって円滑に会の進行をしていた。それによって十分な協議の時間がとることができた。一方、協議内容も学習端末を活用した学習方法について意見交換をしていたり、いじめをなくすための取組として生徒の人権感覚の向上を目指し、社会的にマイノリティとされる方を講師として招き、学びを深めたいといった前向きなアイデアが出されていた。私自身、生徒の発言から教育課程の中に位置付けたいとを感じるものがあり学びとなった。

(4) 自由意見

ア 生徒

- ・他の学校からの意見ですが、対面での交流会も可能であれば行いたいです。市内の学校との交流を図るため、同じボランティアに参加できるような企画を可能であれば市にお願いしたいです。
- ・やはり、オンラインだと自分の意見をそのまま伝えることが難しかったです。表情や言葉だけでなくその場の雰囲気でも伝わりやすさが異なると思います。なので、ぜひ対面での交流をしていきたいです。
- ・今回のオンライン交流会を通して新たな視点の意見を取り入れ深めることができたと自分は感じ、これからもオンラインだけでなく対面で意見を交換できればと思います。

イ 教職員

- ・対面式の交流会を行うこととてもいいと思います。